

(十月のことば)

宗家

16.

吟の秋

品を磨こう

岳精会

九月末、品川支部記念大会が行われた。大会に合吟はつきりものだが、教場毎の合吟を拝見・拝聴する内に何かしら良いものを改めて感じた。

敢えて言うところ特別に「洗練されたものではないか」と思うのが快い。これは何だろうと考へる。

指導者の気持ちと丁寧な指導は浸透してはいるようだが、なれ合いと
いつものかな。おとねる表情もなく、無理強いではなく、やる気で並
び立つ人達的心情と姿勢だろうか。比呂さんの真摯な表情に
自然と「品のあふ顔」を感じた。

日本人にもっともっとこの様な表情が見られれば、それこそ
品格のある日本人であるのかなと思う。

岳精会は誇りを持つ吟道に邁進しよう。

平成三十年十月